

Dell SE2018HL/SE2218HL

Dellディスプレイマネージャ ユーザーガイド

モニターモデル : SE2018HL/SE2218HL

規制モデル : SE2018HL.f/SE2218HL.f





注記：「注意」は、製品をより良く使用するために役立つ重要な情報を示しています。

©2020 Dell Inc. またはその子会社。全著作権所有。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2020 - 01

Rev. A00

コンテンツ

| | |
|----------------------------|----|
| 概要..... | 4 |
| クイック設定ダイアログの使用..... | 6 |
| 基本的な表示機能の設定..... | 7 |
| プリセットモードをアプリケーションに割り当てる. | 8 |
| 簡単なアレンジでWindowsを整理する。..... | 10 |
| アプリケーションの位置を復元する..... | 12 |
| 省電力機能の適用..... | 14 |
| トラブルシューティング..... | 16 |

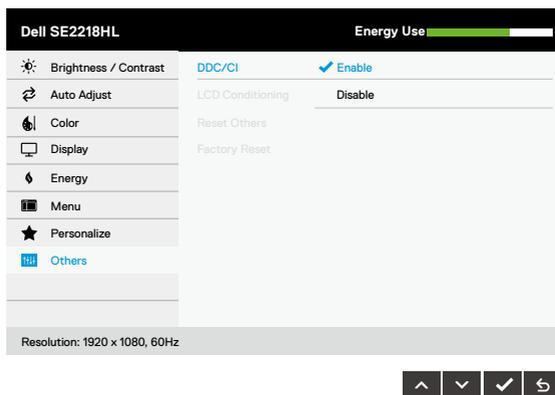


概要

Dell Display Manager (ディスプレイマネージャ) は、モニタまたはモニタグループを管理するために使用されるMicrosoft Windowsアプリケーションです。選択したDellモニター上で、表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウ構成、画像回転、およびその他の機能を有効にします。インストール後、Dell Display Manager (ディスプレイマネージャ) はシステムが起動するたびに実行され、通知トレイにアイコンが表示されます。通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されているモニタに関する情報が表示されます。



 **注意:** Dell Display Manager (ディスプレイマネージャ) はDDC / CIチャンネルを使用してモニタと通信します。次のように、メニューでDDC / CIが有効になっていることを確認します。



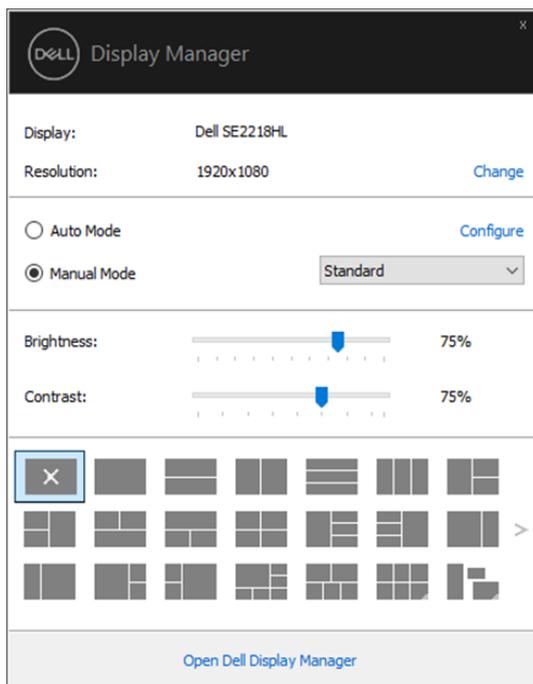
Dell SE2218HL Energy Use 

| | | |
|---|------------------|--|
|  Brightness / Contrast | DDC/CI | <input checked="" type="checkbox"/> Enable |
|  Auto Adjust | LCD Conditioning | <input type="checkbox"/> Disable |
|  Color | Reset Others | |
|  Display | Factory Reset | |
|  Energy | | |
|  Menu | | |
|  Personalize | | |
|  Others | | |
| Resolution: 1920 x 1080, 60Hz | | |



クイック設定ダイアログの使用

ディスプレイマネージャの通知トレイアイコンをクリックして、[クイック設定]ダイアログボックスを開きます。 サポートされている複数のDellモデルがコンピュータに接続されている場合は、メニューを使用して特定のターゲットモニタを選択できます。 [クイック設定]ダイアログボックスでは、モニターの明るさとコントラストを簡単に調整できます。 **手動モード**または**自動モード**を選択すると、画面の解像度を変更できます。



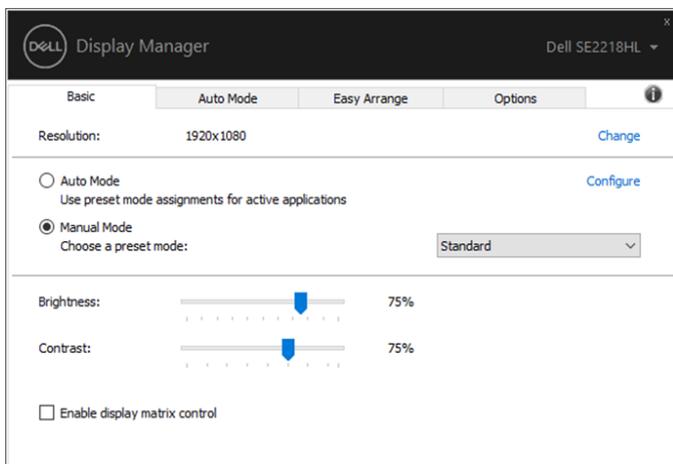
SE2018HL/SE2218HL

クイック設定ダイアログボックスでは、基本機能の調整、自動モードの設定、その他の機能へのアクセスに使用されるDell Display Manager（ディスプレイマネージャ）の高度なユーザーインターフェイスへのアクセスも提供されます。



基本的な表示機能の設定

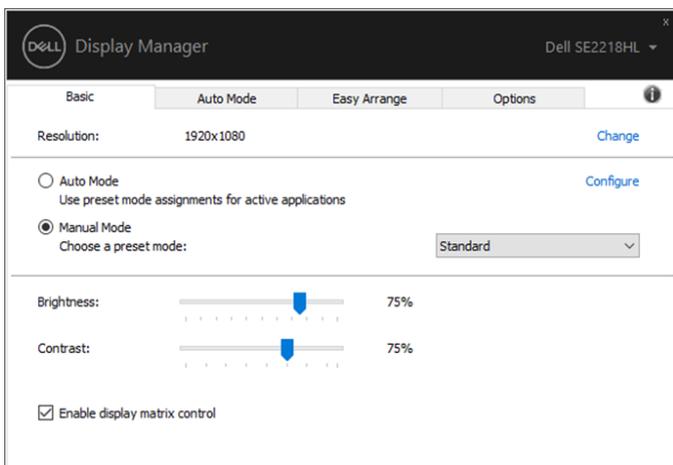
手動モードを選択すると、手動でプリセットモードを選択するか、アクティブなアプリケーションに基づいてプリセットモードを適用する**自動モード**を選択できます。画面にメッセージが表示されると、現在のプリセットモードが変更されるたびに表示されます。選択したモニタの**輝度**と**コントラスト**は、**[基本]**タブから直接調整することもできます。



SE2018HL/SE2218HL



注意：複数のDellモニターが接続されている場合は、「ディスプレイマトリックス制御を有効にする」を選択して、明るさ、コントラストおよびカラープリセットコントロールをすべてのモニターに適用します。



SE2018HL/SE2218HL



プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

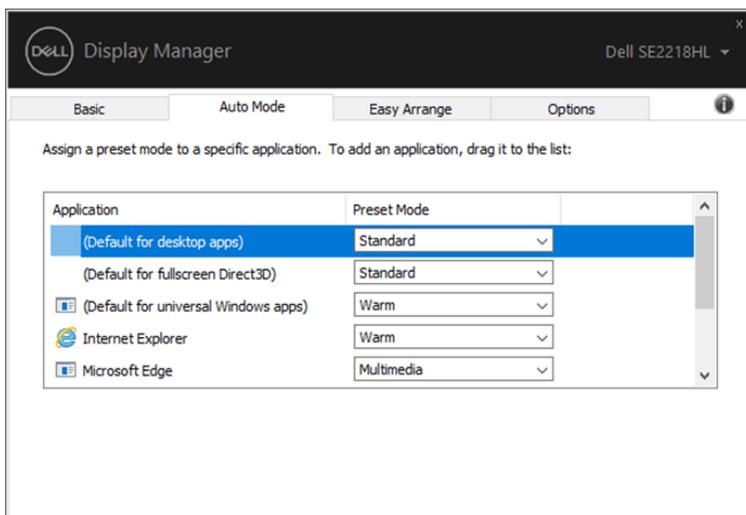
[**自動モード**]タブでは、特定の**プリセットモード**を特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用することができます。 **自動モード**が有効になっている場合、関連するアプリケーションがアクティブになると、Dell Display Manager (ディスプレイマネージャ) は自動的に対応する**プリセットモード**に切り替えます。 特定のアプリケーションに割り当てられた**プリセットモード**は、接続されている各モニターで同じでも、モニターごとに異なることもあります。

Dell Display Manager (ディスプレイマネージャ) は、多くの一般的なアプリケーション用に事前設定されています。 割り当てリストに新しいアプリケーションを追加するには、アプリケーションをデスクトップ、Windowsの[スタート]メニューまたは他の場所からドラッグし、現在のリストにドロップするだけです。



注意：バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブやパックファイルなどの実行不可能なファイルのプリセットモードの割り当てはサポートされていません。



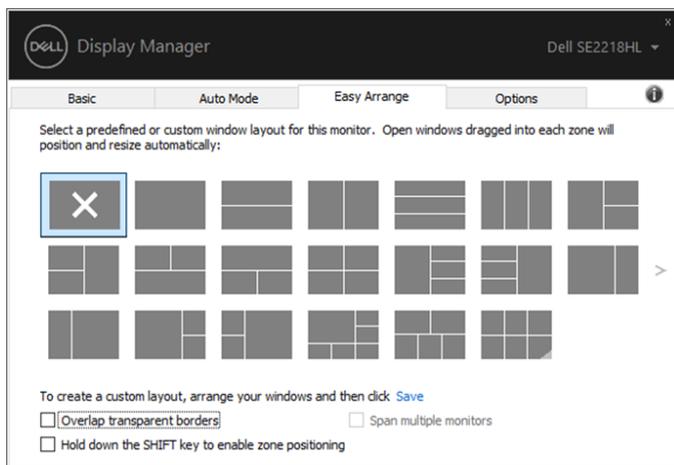


SE2018HL/SE2218HL



簡単なアレンジでWindowsを整理する。

サポートされているDellモニターでは、Easy Arrange（簡単アレンジ）タブで、開いているウィンドウをゾーン内でドラッグして、あらかじめ定義されたレイアウトの1つに簡単に配置できます。“>”を押すか、Page Up / Page Downキーを使用してさらにレイアウトを探します。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配置し、[保存]をクリックします。 .

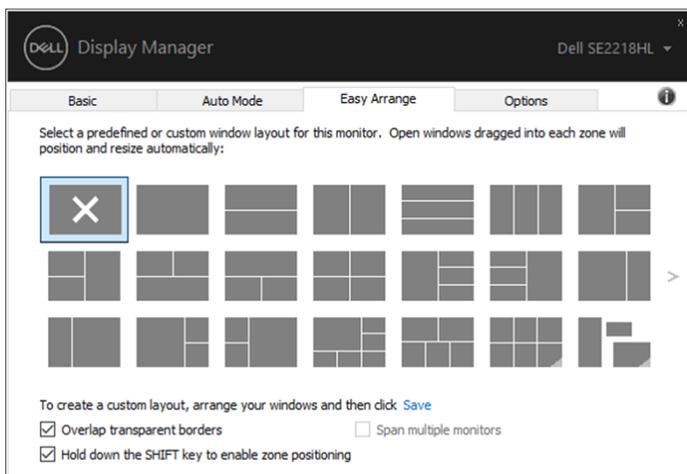


SE2018HL/SE2218HL

Windows 10では、仮想デスクトップごとに異なるウィンドウレイアウトを適用できます。

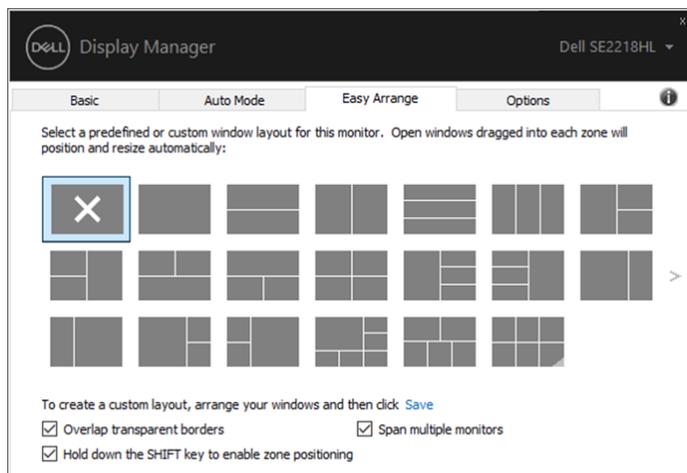
Windowsのスナップ機能を使用することが多い場合は、「ゾーンの位置決めを有効にするにはSHIFTキーを押したままにする」を選択します。これにより、WindowsはEasy Arrange（簡単アレンジ）よりも優先されます。Easy Arrange（簡単アレンジ）の配置を使用するには、Shiftキーを押す必要があります。 .





SE2018HL/SE2218HL

アレイまたはマトリクスで複数のモニタを使用している場合、Easy Arrange（**簡単アレンジ**）レイアウトは1台のデスクトップとしてすべてのモニタに適用できます。この機能を有効にするには、**[複数のスパンのスパン]**を選択します。効果的に使用するには、モニタを適切に調整する必要があります。

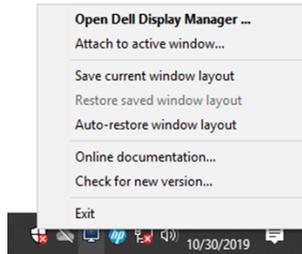


SE2018HL/SE2218HL

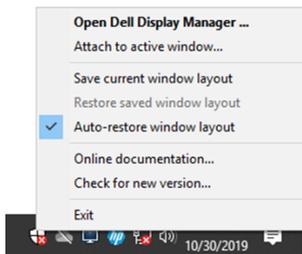


アプリケーションの位置を復元する

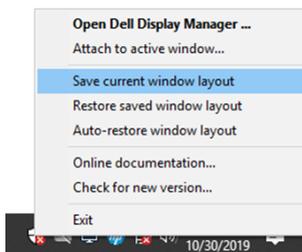
DDMを使用すると、コンピュータをモニタに再接続したときにアプリケーションウィンドウを元の位置に復元することができます。通知トレイのDDMアイコンを右クリックすると、この機能にすばやくアクセスできます。



「ウィンドウのレイアウトを自動復元」を選択すると、アプリケーションウィンドウの位置が追跡され、DDMによって記憶されます。DDMは、PCをモニターに再接続すると、アプリケーションウィンドウを元の位置に自動的に置きます。



アプリケーションウィンドウを移動した後にお気に入りのレイアウトに戻る場合は、最初に「現在のウィンドウレイアウトを保存」し、後で「保存されたウィンドウレイアウトを復元する」ことができます。



毎日のルーチンでモデルや解像度の異なるモニターを使用することができます。異なるウィンドウレイアウトを適用することもできます。DDMは、再接続したモニターを認識し、それに従ってアプリケーションの位置を復元することができます。

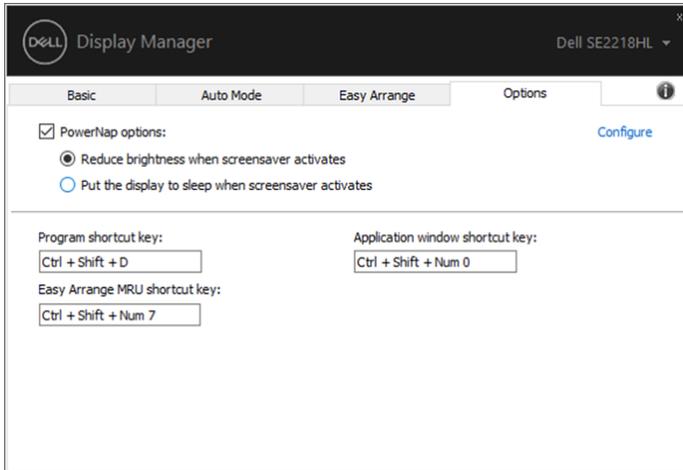
モニターマトリックス構成でモニターを交換する必要がある場合は、交換前にウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを取り付けた後でレイアウトを復元することができます。

 **注意：**この機能を利用するには、アプリケーションを実行したままにしておく必要があります。DDMはアプリケーションを起動しません。



省電力機能の適用

サポートされているDellモデルでは、PowerNapの省電力オプションを提供する**オプション**タブが利用できます。 モニターの輝度を最小レベルに設定するか、スクリーンセーバーがアクティブになったときにモニターをスリープ状態にするかを選択できます。 .

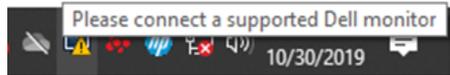


SE2018HL/SE2218HL

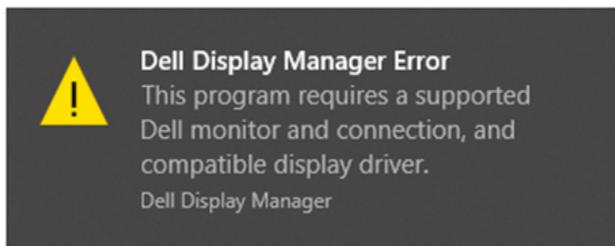


トラブルシューティング

DDMがお使いのモニターで動作しない場合は、通知トレイにDDMアイコンが表示されます。



アイコンをクリックすると、DDMに詳細なエラーメッセージが表示されます。



DDMはDellブランドのモニターでのみ動作します。他のメーカーのモニターを使用している場合、DDMはそれらをサポートしていません。

DDMがサポートされているDellモニターを検出および/または通信できない場合は、以下の処置を行ってトラブルシューティングを行ってください。

1. ビデオケーブルがモニターとコンピュータの間に正しく接続されていることを確認します。コネクタがしっかりと所定の位置に挿入されていることを確認します。
2. モニターのOSDを確認して、DDC / CIが有効になっていることを確認します。
3. ベンダー（Intel、AMD、NVIDIAなど）から適切なグラフィックカードドライバを入手してください。グラフィックス・ドライバーは、DDM障害の原因となることがよくあります。
4. ドッキングステーション、ケーブルエクステンダ、コンバータをモニターとグラフィックポートの間にはずします。いくつかの低コストのエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC / CIを正しくサポートして



いない可能性があり、DDMで失敗する可能性があります。最新バージョンが利用可能であれば、そのようなデバイスのドライバを更新してください。

5. コンピュータを再起動します。

以下のモニタではDDMが動作しないことがあります：

- 2013年以前に出荷されたモニターモデルとDシリーズのDellモニターを選択します。詳細については、www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
- NvidiaベースのG-syncテクノロジーを使用したゲームモニタ
- バーチャルディスプレイとワイヤレスディスプレイはDDC / CIをサポートしていません
- 一部のDP 1.2モニタの初期モデルでは、モニタOSDを使用してMST / DP 1.2を無効にする必要があります

コンピュータがインターネットに接続されている場合は、新しいバージョンのDDMにアップグレードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。最新のDDMアプリケーションをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

また、'shift' キーを押しながらDDMアイコンを右クリックして新しいバージョンを確認することもできます。

